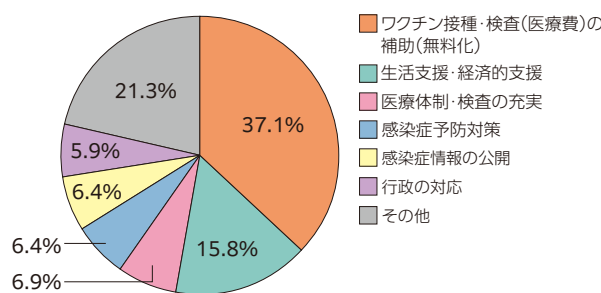


コロナ禍での必要な支援は？

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、引き続き必要な支援等に関しては、「ワクチン接種・検査(医療費)の補助(無料化)」「生活支援・経済的支援」が上位となっています。

またその他の主な意見としては、「精神的なケア(将来的な不安等)」「マスクに関する意見等」「感染症教育」などがありました。

引き続き必要な支援

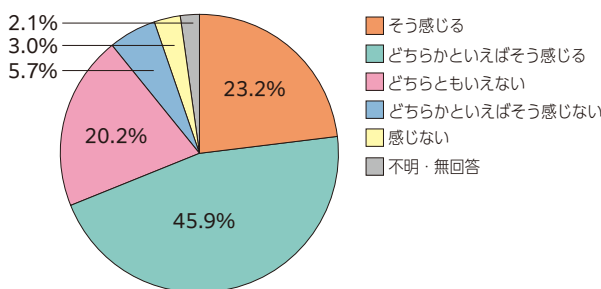


現在の暮らしに“幸せ”を感じている？

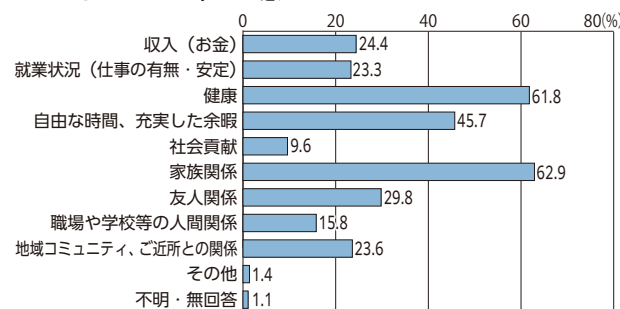
「現在の暮らしに幸せを感じますか」という問いに、「そう感じる」と「どちらかといえばそう感じる」と回答された方の合計は、69.1%でした。

なお、幸せを感じることにについては「家族関係」「健康」「自由な時間、充実した余暇」が上位となっています。世代別では、60歳代以上で「健康」が、50歳代以下では、「家族関係」が最も多くなっています。

現在の暮らしに幸せを感じるか



どのようなことに幸せを感じるか

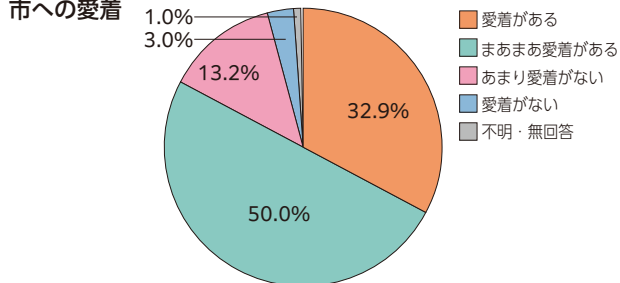


※小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、百分比の合計値が100.0%にならない場合があります。

甲賀市への愛着は8割を超えている！

過去の調査からの推移をみると、大きな変化はみられませんが、「愛着がある」と「まあまあ愛着がある」を合わせた『愛着あり』の割合は、82.9%となっています。

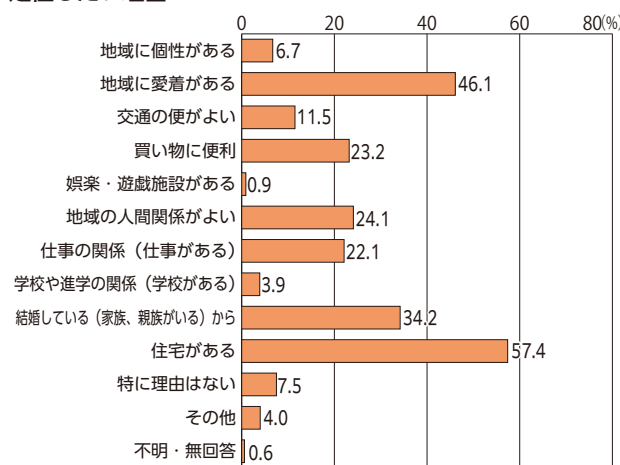
市への愛着



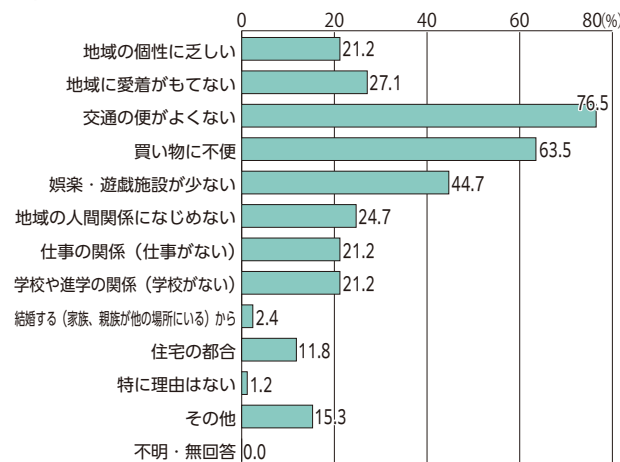
甲賀市にずっと住みつづけたい!?

全体でみると、「住みつづけたい」の割合が63.5%となっています。定住したい理由では、「住宅がある」が最も多く、続いて「地域に愛着がある」、「結婚している(家族、親族がいる)から」になっています。また定住したくない理由では、「交通の便がよい」が最も多く、続いて「買い物に不便」、「娯楽、遊戯施設が少ない」という結果となりました。

定住したい理由



定住したくない理由



市民の皆様からいただいた ご意見や評価を公表します ～市政に関する意識調査の結果について～

問合せ 秘書広報課 広報広聴係 TEL)69-2101 FAX)63-4619



市ホームページ

市では、今後の市政運営の基礎資料として活用するため、「市政についての意識調査」を毎年実施しています。今回は、例年の規模の3倍となる9,000人(3調査×3,000人)の方にお願ひし、3,738人(回答率41.5%)の方からご回答をいただきました。

ご協力をいただきました皆様、お忙しい中ご回答いただきありがとうございます。

今回の調査結果について、その一部をお知らせします。

なお、全ての結果をまとめました調査報告書につきましては、市ホームページ、または地域市民センターおよび図書館で3月中旬に閲覧いただけるよう予定しています。

調査対象 市内在住の個人9,000人(3調査×3,000人)

調査①②は18歳以上、調査③は16歳以上

調査期間 令和5年10月6日(金)～20日(金)

調査方法 郵送配布・郵送回収またはインターネット回答

調査項目 ①市政満足度、市政重要度、市民自治、市の情報発信、新型コロナウイルス感染症
②市民共生、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス、女性活躍、DV、近所づきあい、ボランティア、成年後見制度、再犯防止、地域課題
③環境保全、健康づくり、スポーツ

インターネットでの回答が約30%

平成30年調査から導入しているインターネットでの回答が、これまでで最も多く、約3割の方にWEB形式を活用いただきました。調査を重ねるごとに増えており、市民の皆様のデジタル化が進展していることがうかがえます。

市の情報の入手方法として最も読まれているのは、広報紙!!

広報紙を「必ず読む」「よく読む」「たまに読む」方の合計は約86%。チラシやポスター類は約73%、ホームページは52%、行政情報番組(きらめきこうか)は約40%、LINEは31%、フェイスブックは約12%と、広報紙が皆様に最も読まれている広報媒体であることがうかがえます。

市からの情報を市民の皆様に知っていただけるよう、様々なメディアを活用し、わかりやすい情報の発信に努めていきます。

市に関する情報の入手方法

